

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	08	104550	文化財保護活用事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		31,814	24,481		-7,333
財源内訳	国費	6,446	6,884		438
	県費	0	0		0
	地方債	5,100	0		-5,100
	その他	3,828	1,462		-2,366
	一般財源	16,440	16,135		-305

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標
文化財を保護し活用する。

事業開始の背景・経緯
文化財保護法（昭和25年法律第214号）、花巻市文化財保護条例（平成18年条例第242号）に基づき、市内にある各分野の文化財を調査の上、重要なものについて指定を行い、その保護・活用のため必要な措置を講じてきた。

事業概要
○文化財の保護 22,442千円 文化財の調査と指定 市が所有する文化財の適切な管理運営 花輪堤ハナショウブ群落の調査と保存管理 文化財保存活用地域計画の作成 石鳩岡神楽・土沢神楽の映像記録作成 指定文化財所有者への管理指導や修理費の補助
○文化財の活用 2,039千円 文化財の周知（文化財説明板の設置修繕、パンフレット作成） 市民向け講座の開催 文化財調査報告書・花巻市史資料編の作成

担当部署	51250000 教育委員会 文化財	担当課長	鈴木 直明
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況
市内に多く所在する国・県・市指定の文化財を守り、後世に継承していくことの必要性が要望されている。

事業手法の詳細 1
<p>1. 文化財の保護 22,442千円 各種文化財を調査し、重要なものを文化財指定するとともに、適切な管理・修復等により文化財の保護を図る。</p> <p>(1) 文化財の調査と指定 3,419千円 文化財保護審議会の開催及び同委員の文化財調査経費等、文化財専門官設置</p> <p>(2) 市が所有する文化財の適切な管理運営 4,478千円 国及び市指定文化財等の維持管理費 【国指定】旧小原家住宅・伊藤家住宅・花輪堤ハナショウブ群落・カズクリ自生地 【市指定】熊谷家・花巻城内伊藤家住宅</p> <p>(3) 花輪堤ハナショウブ群落の調査と保存管理 8,394千円 保存管理検討委員会の開催及びハナショウブ調査委託料、保存活用計画の策定経費等 【財源内訳】国補助1/2：3,977千円</p> <p>(4) 文化財保存活用地域計画の作成 2,461千円 計画策定協議会の開催及び地域の文化財把握調査経費等 【財源内訳】国補助：1,895千円※定額</p> <p>(5) 石鳩岡神楽・土沢神楽の映像記録作成 2,025千円 調査委員会の開催及び映像記録作成委託料等 【財源内訳】国補助1/2：1,012千円</p> <p>(6) 指定文化財所有者への管理指導や修理費の補助 1,665千円 指定文化財への修理費補助金 3件分(補助率1/2以内)</p> <p>2. 文化財の活用 2,039千円 文化財に係る説明板設置、市民向け講座の開催、調査報告書刊行等により文化財の活用を図る。</p> <p>(1) 文化財の周知 1,485千円 文化財説明板の新規設置及び修繕、文化財パンフレットの作成</p> <p>(2) 市民向け講座の開催 114千円 文化財セミナー等の開催にかかる講師謝礼及び講座開催委託料等</p> <p>(3) 文化財調査報告書・花巻市史資料編の作成 401千円 一般文化財調査報告書・第17集 250部、花巻市史資料編「御次留書帳」第22巻・文化14年 250部の刊行</p> <p>(4) 岩手県文化財愛護協会負担金 39千円</p>

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	08	104570	埋蔵文化財保護活用事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		31,175	29,589		-1,586
財源内訳	国費	9,208	9,008		-200
	県費	1,366	1,321		-45
	地方債	0	0		0
	その他	974	37		-937
	一般財源	19,627	19,223		-404

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標

文化財を保護し活用する。

事業開始の背景・経緯

文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づき、遺跡の周知徹底、遺跡内での開発行為等の把握に努め、保護に必要な指導及び措置を講ずるとともに、保護された遺跡の情報を活用し、市民の埋蔵文化財への理解を深めるよう努めてきた。

事業概要

○埋蔵文化財の保護 24,506千円
埋蔵文化財保護のための遺跡情報周知と保護措置（発掘調査・工事立会等）の実施
埋蔵文化財の記録保存調査の実施、市内遺跡の分布状況調査
花巻城跡内容確認調査の実施
公有化遺跡の環境整備

○埋蔵文化財の活用 5,083千円
埋蔵文化財・史跡等を活用した講座及び講演会・セミナーの開催
遺跡標柱の設置
総合文化財センターにおける埋蔵文化財資料の収蔵・展示
利活用に向けた資料の再整理及び展示・体験学習等の実施

担当部署	51250000 教育委員会 文化財	担当課長	鈴木 直明
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

花巻城跡の取得・保存・活用、他の史跡の活用・環境整備等について議会や市民から要望されている。

事業手法の詳細 1

埋蔵文化財保護活用事業 29,589千円

- 埋蔵文化財の保護 24,506千円
 - 発掘届に関する指導・事前調査 10,275千円
埋蔵文化財保護のための遺跡情報周知と保護措置（発掘調査・工事立会等）の実施
 - 遺跡事前確認調査、個人住宅等記録保存調査 6,429千円
埋蔵文化財の記録保存調査の実施、市内遺跡の分布状況調査
□発掘調査
①個人住宅の建設（1件）5,639千円
□試掘調査
②民間開発（9件）790千円
③公共工事（0遺跡）0千円
【財源内訳】国補助1/2：3,195千円、県補助（対象事業費 6,389千円/2×13.5%）431千円
※県補助の補助率については毎年変動あり
 - 遺跡内容等の確認調査 7,177千円
花巻城跡内容確認調査（本丸御殿跡）の実施、成果整理
【財源内訳】国補助1/2：3,578千円
 - 記録保存調査（受託事業）0千円
民間開発や公共工事による記録保存調査
①公共工事本発掘調査（0件）0千円
②民間開発（0件）0千円
 - 公有化遺跡の環境整備 625千円
久田野Ⅱ遺跡、花巻城跡（二之丸南御蔵跡地）、毒沢城跡、新堀城跡（遊歩道）
岳妙泉寺跡の草刈り等
- 埋蔵文化財の活用 5,083千円
 - 史跡・埋蔵文化財の公開活用 388千円
埋蔵文化財・史跡等を活用した各種公開事業の実施
①各種講座及び講演会・セミナーの開催（年2回）41千円
②遺跡標柱の設置（5本）347千円
③埋蔵文化財を活かした地域事業への協力
 - 総合文化財センター展示公開・収蔵資料整理 4,695千円
①埋蔵文化財の収蔵・展示 170千円
②利活用に向けた資料の再整理及び展示・体験学習等の実施 4,525千円
【財源内訳】国補助1/2：2,235千円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	09	104590	展示活動事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		12,582	15,764		3,182
財源内訳	国費	1,079	1,784		705
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	10,342	10,970		628
	一般財源	1,161	3,010		1,849

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標

文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯

博物館は、市民が郷土の歴史や文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展覧会をより理解しやすくするため、関連した各種講座及び体験学習を開催している。

事業概要

○展示活動 7,791千円 ・特別展や学芸員の調査研究の成果を反映させたテーマ展等の展示業務
○資料整理等 7,513千円 ・資料の保存管理にかかわる調査や整理業務
○調査研究 460千円 ・展示等に活用するための調査研究業務

担当部署	51300000 教育委員会 博物館	担当課長	佐藤 恒
------	--------------------	------	------

意見・要望等の状況

花巻の歴史や先人、収蔵されている資料を紹介する展示を望む声がある。

事業手法の詳細1

- 展示活動 7,791千円
 - ①共通経費 1,627千円
ミュージアムイベント謝礼60千円、調査旅費266千円、消耗品1,058千円、通信費(特別、テーマ展)67千円、入口案内看板119千円、図書購入57千円
 - ②特別展 5,713千円
「20世紀の版画達」 7/16～8/28
報酬244千円、旅費45千円、通勤手当9千円、印刷製本費423千円、広告費121千円、開催業務費4,400千円、展示造作製作費258千円、著作権料213千円
 - ③テーマ展 451千円
「屏風と襖」5/21～6/26、「花巻のやきもの」9/17～11/20、「花巻人形」2/18～5/7
旅費3千円、展示ケース移動 448千円
- 資料収集及び整理保管 7,513千円
 - ①書画の表具 161千円
 - ②刀研磨 145千円
 - ③南部杜氏の酒造用具修復 3,570千円(国1/2:1,784千円)
業務委託 3,498千円、文化庁との協議、指導旅費 63千円、消耗品 9千円
 - ④資料調査整理 550千円
 - ⑤石鳥谷歴史民俗資料館資料の移動・展示業務 0千円
 - ⑥収蔵庫ガスくん蒸 2,790千円
消毒業務 2,695千円、窒素ガス消火設備一時停止処理業務 95千円
 - ⑦機関車模型改良業務 297千円
- 調査研究 460千円
 - ①古文書調査 200千円
 - ②花巻人形色彩分析調査 260千円

令和4年度
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	09	104600	教育普及活動事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,109	2,140		31
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	53	21		-32
	一般財源	2,056	2,119		63

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	
------	---	-------	--	------	--

部重点施策における目標

文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯

博物館は、市民が郷土の歴史や文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展示内容をより理解しやすくするため、毎年展覧会や各種講座及び体験学習を開催している。
--

事業概要

○教育普及活動事業（2,140千円） ・体験学習・各種講座の開催 ・博物館と学校教育の連携による調査・研究

担当部署	51300000 教育委員会 博物館	担当課長	佐藤 恒
------	--------------------	------	------

意見・要望等の状況
主に小学校における社会科の総合学習を検討するうえで、博物館との連携によって子どもたちの考察力を養い、地域の歴史や文化を理解する窓口となっている。

事業手法の詳細1
博物館と小中学校が連携（博学連携）して学習メニューを作成したり、博物館資料を活用した社会科の総合的な学習を支援する。 また地域の歴史や先人、文化財への理解を深めるため、博物館講座や出前講座、体験学習を行う。
1. 共通経費 2,070千円 社会教育指導員1人 1,845千円、消耗品 62千円、備品 163千円
2. 体験学習 60千円 講師謝礼 60千円（④～⑤分） ①勾玉づくり（学芸員対応） 2回 ②琥珀玉づくり（学芸員対応） 1回 ③縄文弓矢火起こし体験（学芸員対応） 1回 ④花巻人形絵付け体験 2回 ⑤陶芸体験（台焼、鍛冶丁焼） 2回
3. 講座 ①館長講座 3回 ②博物館講座（学芸員） 随時
4. 博学連携 10千円 博学連携研修委員会議旅費 10千円

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	09	104990	市史編さん事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	2,868		2,868
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	2,500		2,500
	一般財源	0	368		368

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	令和4年度 ~ 令和17年度
------	--	-------	---	------	----------------

部重点施策における目標

文化財の保護と活用

事業開始の背景・経緯

旧市町村の発刊から50年ほど経過し、資料の散逸が懸念されることから、合併後15年を経過した市域全体の歴史を体系的に整理し、市史の編さんに着手する。

事業概要

○市史編さん事業（2,868千円） ・市史編さん委員会の設置 ・編さん委員の選定 ・資料の収集と調査研究

担当部署	51300000 教育委員会 博物館	担当課長	佐藤 恒
------	--------------------	------	------

意見・要望等の状況

新花巻市のこれまでの歴史を一体のものとして振り返り、後世に受け継ぐべき資料を収集整理しながら、花巻市の歴史・文化遺産を総合的にまとめ、次の世代へ受け継ぐために『花巻市史』の編さんを行うことが必要である。

事業手法の詳細1

市史編さん事業

旧市町村の発刊から50年ほど経過し、資料の散逸が懸念されることから、合併後15年を経過した市域全体の歴史を体系的に整理し、市史の編さんを行う。

【事業期間】 令和4年度～令和17年度

【発行予定】 12冊（通史編4冊、資料編4冊、特別編3冊、別編1冊）

【R4事業概要】

- ①市史編さん委員会の設置
- ②編集委員の選定と交渉
- ③資料の調査研究

1. 共通経費 2,868千円
学芸調査員1人 2,636千円、報償費 36千円、費用弁償 59千円、パフォーマンス料 64千円、機器リース 73千円、
2. 調査研究
編集委員の選定と交渉、資料の調査研究等の旅費 0千円